

# 東洋英和女学院大学大学院 人間科学研究科人間科学専攻 合同特別講演会

港区麻布地区総合支所共催

当大学院人間科学研究科は、社会人・大学新卒者を対象とし、男女共学の夜間大学院として1993年に設立され、多くの修了生を世に送り出してきました。「人間科学」という広い枠組みのなかで「人間」に関わる様々な分野についての学びの場を提供しています。

今回、ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン代表の、志村 真介（しむら しんすけ）さんをお迎えして、港区麻布地区総合支所と東洋英和女学院大学大学院人間科学研究科人間科学専攻との共催でご講演をしていただくことになりました。

この合同特別講演会を契機に、より広く本大学院人間科学研究科人間科学専攻の高度専門教育実践へのご理解とご支援を賜りたいと存じます。

## 講師のご紹介

### 志村 真介

ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン代表。コンサルティングファームフェローを経て1999年からダイアログ・イン・ザ・ダークを主宰。日本初開催後10年間短期イベントとして開催。視覚障害者の新しい雇用創出と、誰もが対等に対話できるソーシャルプラットフォームを提供している。2020年東京竹芝にダイアログ・ダイバーシティミュージアム「対話の森」を開設。現在に至る。著書：『暗闇から世界が変わるーダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパンの挑戦』講談社現代新書、2015。

### ダイアログ・イン・ザ・ダークについて

1988年、ドイツの哲学博士アンドレアス・ハイネッケの発案によって生まれたダイアログ・イン・ザ・ダークは、これまで世界47カ国以上で開催され、900万人を超える人々が体験。日本ではこれまで30万人以上が体験しています。暗闇での体験を通して、人と人のかかわりや対話の大切さ、五感の豊かさを感じる「ソーシャルエンターテイメント」です。

日時：2026年5月23日（土）16:30～18:00

講師：志村 真介（ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン代表）

講演テーマ：対話と身体性について「5-1=∞Lab.」

参加費：無料（港区六本木5-14-40、東洋英和女学院大学大学院201教室／ハイブリッド）  
東洋英和女学院大学大学院HPのお申込フォームよりお申し込みください。